

COVID-19 AND BEYOND:

日本の高等教育におけるダイバーシティと インクルージョンの課題と取り組み

- ▶ ZOOMウェビナーにて
- ▶ 言語：日本語/英語
(両言語同時通訳あり)
- ▶ 参加費無料
- ▶ 事前登録要
先着順、定員に到達し次第締切

新型コロナウイルスによるパンデミックは、私たちの日常や社会の在り様を大きく変えました。高等教育においてもこれまで以上に、私たちが直面している複雑な経済的、社会的な問題を解決できる人材や、グローバル化によってもたらされる機会を利用して社会をよりよく変えていけるリーダーを輩出することが期待されています。

本ウェビナーでは、パンデミックが高等教育にどのような影響を与えたのか、また、ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代の高等教育において、ダイバーシティとインクルージョン（個々の「違い」を受け入れ、認め合い、生かしていくこと）を促進することがなぜ重要なのかについて、地域的・世界的な視点で議論します。

登壇者

長野 恭紘

別府市長



Carolyn Funck

広島大学副学長



出口 治明

立命館アジア太平洋大学 学長



Thomas E. Jones

立命館アジア太平洋大学 准教授



司会

Lailani Alcantara

CIL センター長
立命館アジア太平洋大学
教授



セミナーの狙い

- ▶ 高等教育におけるダイバーシティ、インクルージョン推進の重要性の認識を高める。
- ▶ 日本の高等教育における外国人の入国・再入国禁止の影響について議論する。
- ▶ 現状への対応策を提示する。

